

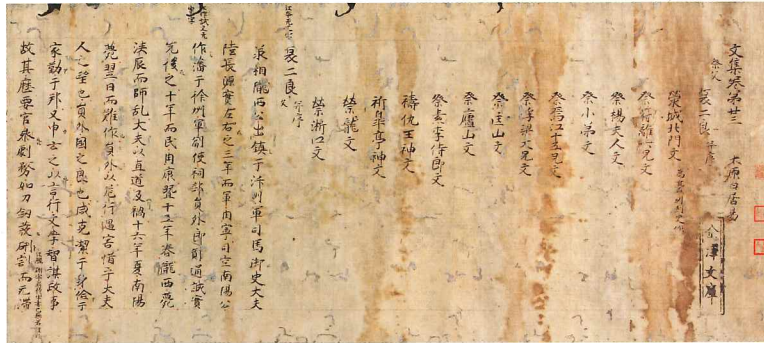
唐物

特別展
KARA-MONO
中世鎌倉文化を彩る海の恩恵

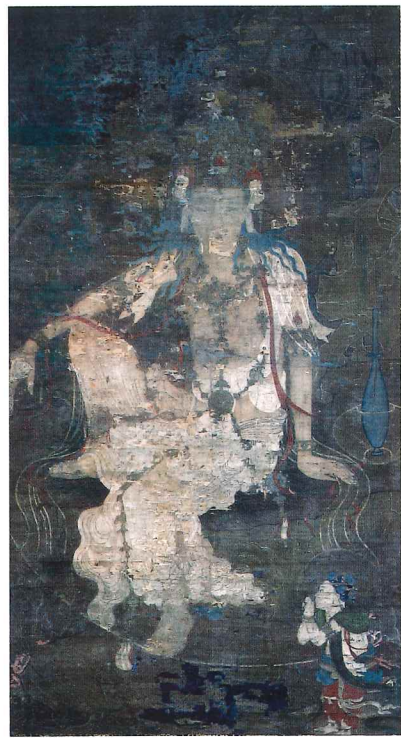
大陸との交易は、中世都市鎌倉に陶磁器や書物、經典、墨などさまざまな「唐物」をもたらし、国際色豊かな文化を形成しました。「唐物」の受容は同時代に輸入された文物にとどまりません。北条実時は、入唐僧・惠尊が平安時代に請来した『白氏文集』を写して創設した金沢文庫に収めました。また、中国の国際貿易都市・寧波沖の普陀山は、惠尊ゆかりの観音菩薩像を祀ります。この普陀山観音は海上の守護として東アジア諸国で信仰され、鎌倉地方にも仏像や仏画が伝えられています。本展では、鎌倉文化の基層にある大陸への憧憬を国宝、重要文化財など約100点から探ります。



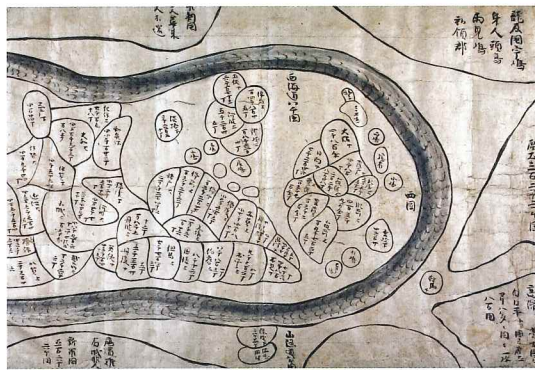
重要文化財 韋駄天立像
南宋時代 泉涌寺



重要文化財 白氏文集 卷二十三 鎌倉時代 三井記念美術館



重要文化財 白衣観音像 元時代 建長寺



重要文化財 日本図 鎌倉時代 称名寺



白磁四耳壺 元時代
神奈川県立歴史博物館



重要文化財 青磁壺 元時代
称名寺

関連行事 (事前申込制)

- ◆①特別講演会 (横浜市金沢区役所連携「金沢を知る講演会」)
11月18日(土) 田中史生氏 (関東学院大学教授)
「入唐僧惠尊の足跡をたどるー『白氏文集』の将来と普陀山の観音像をめぐるー」
- ◆②連続講座「唐物と東アジアの海域交流」(全5回・受講料5000円)
11月11日(土) 梅沢恵 (神奈川県立金沢文庫主任学芸員)「鎌倉地方における唐物受容」
11月25日(土) 石野一晴氏 (学習院大学研究員)「観音様に会える島ー明代における普陀山復興と巡礼ー」
12月2日(土) 西谷功氏 (泉涌寺宝物館「心照殿」学芸員)「入宋僧と普陀山観音信仰」
12月9日(土) 佐々木蘭貞氏 (九州国立博物館研究員)
「鷹島海底遺跡の調査とその後〜これからの水中考古学研究」
12月16日(土) 長岡龍作氏 (東北大学教授)
「海をわたる釈迦像ー清涼寺釈迦如来像の胎内に見る信仰世界」
- ◆③金沢文庫月例講座 11月4日(土)
梅沢恵 (神奈川県立金沢文庫主任学芸員)「特別展『唐物 KARA-MONO』の見どころ」
- ◆④国宝・金沢文庫文書に親しむ講座 11月23日(木・祝)
貫井裕恵 (神奈川県立金沢文庫学芸員)「唐物関係史料を読む」

- ◇時間 ①、②は13:30~15:30、③、④は13:30~15:00
- ◇会場 地下大会議室
- ◇定員 100名 (応募多数の場合は抽選)
- ◇受講料 ①、③、④は無料 (ただし当日の観覧券が必要です)、②は5000円

[申込方法]
当文庫HPのフォームメール、往復はがき(お一人様1講座1通まで)に、講座名(開催日)、住所、氏名、電話番号を明記の上、①11月5日、②10月29日、③10月22日、④11月9日必着でお申し込みください。
〒236-0015 神奈川県横浜市金沢区金沢町142
神奈川県立金沢文庫
電話 045-701-9069 FAX 045-788-1060



陸信忠筆 十王図 元時代
称名寺



普陀山観音像 明時代
称名寺



次回の展覧会
特別展 運慶 鎌倉幕府と靈験伝説
2018年1月13日(土)~3月11日(日)

